

## WorkCamp 2018 8/6~13 ホール建築（棟上げ）

8月8日から棟上げを行うために2日前の6日～準備作業に向かいました。今回はプレカットされた木材を組み合わせて、基礎から屋根まで仕上げるので知り合いの延末さん、一澤さんをお願いして建築を行いました。

6日(月)5時に松田を出発、山荘には9時に到着。軽トラに積んできた荷物（水・備品など）を下ろして、二台を空にすると東御市にある「コメリ資材館へ向かいました。この店ではピンコロ（土台）50個を購入、帰り道でビバホーム（佐久平）で屋根材の残りを（70枚）を受け取り、軽トラに積み込み（フォークリフト）を店の方がやってくれたので、楽ちんですが、これを下ろすのは私一人なので帰ってからの作業が大変です。それに、重量オーバーで50kmぐらい速度が上がると左右にローリングし出すので、ゆっくりゆっくり山荘まで運搬しました。上の写真で後部タイヤがかなりへこんでいるのが、確認できます。荷下ろしを終えて、昼食。ログハウスの中に置いてあったチェーンソーやロープなどを倉庫に移動して、室内清掃、今日の仕事はここまでとしました。外気温は25℃ぐらいまで上がっています。



7日(火)5時起床 外気温17℃ 霧・小雨 これからの作業予定と献立・買い物リストを作成してから、9時から



11時まで7月に倒した栗の木を玉切りにして薪置き場に移動。土台の中に入っていた小枝や葉っぱの清掃などを行う。与志本プレカットセンター中島氏に雨の状況を電話連絡したところ、佐久市内は晴れているので、材木を積んでトラックでこちらに向かっているという返事でした。濡れた坂道を上ってこれるか心配していましたが、力のあるエンジン音を響かせて白いトラックが無事到着しました。降ろす場所や順番などを確認して荷下ろし作業開始。クレーンはiPhoneぐらいの無線リモコン

で操作するので、簡単です。最初に（左写真）7mの梁を下ろしました。トラック一台で



は積みきれないので午後からもう一度運搬して、14時ごろ作業終了。今夜は温泉へ

8日(水) 5時起床

外気温16℃ 小雨 午前中は晴れ午後から雷雨 寒い  
8時30分頃延末さん 一澤さんがダンプで到着。現場を確認して、荷物を搬入。9時から作業開始。プレカットされた木材の土台を基礎の上に置いて、土台材にボルトの穴を開けて固定していきます。(土台周り) この作業が結構時間がかかりますが、ここでずれてしまうと、建物がまっすぐ立ちません。慎重に作業を進めました。三人ともパンツまでずぶ濡れになり、しゃがむと、全身にしみこんだ雨が滴り落ちます。気温も下がってきたので、身体も小刻みに震えてきました。ログハウスの薪ストーブをつけて室内を暖めました(30℃ぐらい) 三人とも早々に着替えて身体を温めて濡れた衣服をストーブで乾燥しました。今夜は荒船温泉でゆっくり温まり、夕食はビールとステーキで元気をつけました。



9日(木) 5時30分起床、18℃ 霧 基礎にピンコロを置いて、生コンで土台を作っていきます。9時頃尾方さん到着。11時頃に矢島さんも来ました。午後からは床材を置いて、生コンが固まったところから柱を仮に立てていきます。柱と梁がくみ上がっていくと建物ががっしりと固定されます、いよいよ7mの梁を持ち上げて組み込んでいきます。梁を入れる作業は人力や滑車で試



てみましたがとても重くて持ち上げることが出来ません。そこで林業用の「エンジンウインチ」と「ローププラー」を使用して滑車を2個ずつ使用して両側から平行に持ち上げる方法で3mの高さまで持ち上げることが出来ました。今日は二本まで入れて、明朝最後の一本を組み込む事としました。これで一安心、この梁が持ち上がらなければ今回の作業は失敗です。みんなの知恵を合わせて問題解決できたことに感謝します。それに、かなり危険な作業なのでこれで一安心です。今夜も温泉へ行ってから夕食(回鍋肉)



てみましたがとても重くて持ち上げることが出来ません。そこで林業用の「エンジンウインチ」と「ローププラー」を使用して滑車を2個ずつ使用して両側から平行に持ち上げる方法で3mの高さまで持ち上げることが出来ました。今日は二本まで入れて、明朝最後の一本を組み込む事としました。これで一安心、この梁が持ち上がらなければ今回の作業は失敗です。みんなの知恵を合わせて問題解決できたことに感謝します。それに、かなり危険な作業なのでこれで一安心です。今夜も温泉へ行ってから夕食(回鍋肉)

10日(金) 16℃ 晴れ 朝一番に最後の梁を持ち上げて設置、三回目なので要領も良くなりました。プレカットの材木は順番どおりにくみ上



げていけば良いのですが、右から左と反対方向もあり、組む順番を間違えるとやり直さなければなりません。そして、ボルトやナット、羽子板という金物も使ってしっかり組むので梁から上は結構時間がかかります。予定では今日あたりに骨組みが出来て、屋根の作業に移りたかったのですが、梁をあげる方法に手間取ったり、間違った組み付けをやり直したりと作業が遅くなってしまいました。そこで、延末さんと一澤さんに相談して日程

を2日延ばして13日まで行うことにしました。屋根の構造材を貼って、ルーフィングまで終われば、雨が降っても室内が濡れることがなくなるので屋根完成を目標に作業を行います。

11日(土) 外気温18℃ はれ 今日はいよいよ良い天気、気持ちよく作業が出来ましたが、日差しの下ではかなり暑くなり、汗が止まりません。天井の構造材を貼るとその上は日差しを遮る物がありませんから、日射病に注意しながら水分補強と休憩を取りながらの作業です。構造材(70枚)を屋根に上げるのも、人力ですから腰と腕に負担がかかります。屋根はへの字型で西側はかなり急傾斜です。これはロフトを作るために頂点を均等ではなく、西側にずらしたためです。下地造りをしながら構造材を貼り、横に縦に屋根を張っていきます。矢島さんはお昼を食べたら、帰宅。私たちは夕方まで屋根作りを進めました。与志本プレカットセンターから搬入された材木も残り少なくなってきました。



12日(日) 17℃ くもり晴れ 増田さんが今日から参加するのであさ7時に佐久平駅までお出迎え、二番列車の新幹線で到着。作業に合流しました。屋根作りと破風板を軒下に設置して、細かい作業が続きます。午後からは西側に「ルーフィング材」を張り始めて、傾斜が急なので角材のさんを60cm間隔で横にビスで設置していきます。そこにルーフィングを貼ると、さんを設置して一段ずつ頂上に向けて登っていくのです。17時に作業終了して、今夜は一万里温泉でゆっくり、あと一日頑張れば屋根も完成する予定です。そこでホテルの最上階にある展望レストランで、前祝い。黄昏時の景色がきれいでした。



13日(月) 20℃ くもり 気温も高め昼頃から雨の予報なので、なんとなく焦って作業を進めていました。尾方さんが9時頃に到着、今日は5人でフル稼働します。時々雨が落ちてきますが、15時ぐらいまでは順調に作業が出来ました。頂上付近まできて、ついに下地の構造材とルーフィングの設置を完了。そのころ、雷が鳴り出し屋根の上は危険なので早々に道具をしまってお帰り支度。壁にブルーシートを打ち付けていると、ついに雷雨が音を立てて落ちてきました。ずぶ濡れになりながら道具を片付け、シートを貼り終わったのが16時30分。延末さん一澤さん 尾方さんを見送ってこちらもお帰りの支度。荷物を軽トラックに積もうとしていたのですが、ゴーという音を立てて雨が落ちてきます。少し雨宿りをしてから少し小やみになったところをねらって、荷物の移動。15時15分増田さんと山荘を出発。横浜に向かいました、佐久市に下りてみると雨は降っていません。高速道路は軒並み30km以上の渋滞予測が出ていたので、帰りのコースはR141号線で野辺山ー須玉ー甲府ー河口湖ー山中湖ーR246ー松田ー西湘バイパスー戸塚から横浜新道というコースでした。途中R141号線清里から須玉が大雨のため通行止めで、長坂へ迂回しましたが、全コース渋滞はなく。12時ごろには帰宅できました。8日間の作業で疲れていましたが、気分は爽快です。



最後は雷雨になってしまったので、完成写真が撮れませんでした。左が車内から増田さんが写した写真です。屋根が付いて壁にはブルーシートで雨よけをしているので内部に水が入る心配はありません。西側にトイレ・台所・洗面所・フィンランドサウナそして28畳のホール(研修や食堂)2階はロフトになるので、大人でも10人ぐらい寝ることが出来ます。

これから外壁・内装などの工事を進めていきますので、ご協力よろしくお願ひします。また、この施設を使用して皆さんの活動を行ってください。矢島さん尾方さん増田さんお疲れ様でした。

